

【2022年度 事業計画】

I 事業の実施方針

2020年にはじまった新型コロナウイルス感染症も3年目に入りました。いつになったら収束するのか、果たして収束する日は来るのでしょうか。このコロナ禍で新たな生活様式は定着してきました。きょうとグリーンファンドでも総会などの会議がオンライン開催となりました。しかし職場には行かずに在宅で仕事をするというリモートワークは人と人の関係を築きにくくします。リモートで講義を受ける学生さんには友人を作れない、課外活動ができないなどの弊害が出てきています。そうした弊害を考えて規制を撤廃した国もありますが、日本は緩和しても撤廃までは難しいでしょう。我慢はまだしばらく続きそうです。

そうこうしている間に2月24日にロシアがウクライナへ軍事侵攻するという、ありえない出来事が生じてしまいました。それに対して日本や欧米各国はロシアに対して厳しい経済的制裁を課しました。天然ガスを多く輸出していたロシアに対する制裁は、世界のエネルギー事情に大きな影響を及ぼすことになりそうです。第3次世界大戦を心配する声もありますが、そうならないことを祈るばかりです。

さらに3月16日には11年前の東日本大震災を思い起こさせるような大きな地震が東北地方で発生、これを原因として電力需給が逼迫し節電が呼びかけられるという事態となりました。

このように地球温暖化問題、エネルギー問題、電力問題には次々と難題が起きていますが、きょうとグリーンファンドは行政や産業に頼らず個々の人々の熱意によって再生可能エネルギー普及に努めてきた姿勢を今後とも続けていきます。

- ① 2030年までの「勝負の10年間」は2年目を迎えました。脱炭素をめざし新しい枠組みで、おひさま発電所設置拡大を軸に、さらに再生可能エネルギーの普及に努めます。
- ② 市民と共に再エネ100%をめざす新電力と協力・連携し「おひさまでんきプロジェクト」として再生可能エネルギーを広げていきます。
- ③ 環境問題への関心を深め、具体的な行動に結びつけるための環境学習を広げます。
- ④ 上記の活動を達成するため、会員の拡大に努めます。
- ⑤ 認定NPO法人の制度を活用し、さまざまなセクターと連携しながら、財政基盤の強化に努めます。

II 特定非営利活動に係る事業

太陽光発電設備設置事業

・「市民再エネプロジェクトin京都」として、NPO法人京都地球温暖化防止府民会議、認定NPO法人気候ネットワーク、一般社団法人市民エネルギー京都、NPO法人エコネット近畿、と認定NPO法人きょうとグリーンファンドが連携した新しい枠組みで、「おひさま発電所」の設置に取り組みます。

・寄付、おひさま基金からの助成、設置協力金、補助金などを組み合わせた仕組みで、さらに設置施設の拡大をめざします。

学習活動

コロナ禍が続いて環境学習の実施が制限され、温暖化への危機意識が薄れてしまいそうな状況です。こういう時だからこそ今年度も積極的に環境学習を実施していきます。毎年の保育園、幼稚園での環境学習はもちろんのことですが、特に今年度は気候危機に対する防災の観点から「おひさま発電所」設置施設には太陽光発電の災害時の自立運転方法の習得を積極的に呼びかけます。設置していない施設には水についての学習、雨水タンクの設置等の環境学習をきっかけに「おひさま発電所」実現につながるよう働きかけます。今年度の環境学習としては以下の活動を行います。

- ① 子どもたちに向け、環境腹話術、自然観察会などのプログラムを各施設に提供します。
- ② 日常の遊びの中での環境学習としての「エコすごろく」の貸し出しを進めます。
- ③ 環境への意識改革と行動を促す内容の職員研修を実施します。(以下 テーマ例)
 - ・エコすごろく作りワークショップ
 - ・パペットシアターのシナリオ作りワークショップ
 - ・省エネワークショップ
 - ・災害時の避難施設としての「おひさま発電所」の自立運転の仕方、活用方法などをレクチャーすると同時に防災の観点からの学習会を実施します。
- ④ 雨水タンクの設置を通じて、水や防災について学習をします。
 - ・紙芝居等を通じて、子どもたちに雨水のめぐみを伝えます。
- ⑤ 環境学習の機会をとらえて「おひさま発電所」の見学会を実施します。

サポート活動

- ① 上鳥羽北部いきいき市民活動センター(以下いきセン)に対する環境活動のサポート
 - ・いきセンと協働して継続してきた上鳥羽地域での環境活動のサポートも8年目を迎えます。連合自治会の行事(夏の夜市など)でゴミ減量などの取り組みを進めてきましたが、今年度も中止が決まりました。一方で、地域住民の自主的な環境活動を進めるために、地域の環境ボランティアのグループを作る動きがあります。このような自主的な活動をサポートできるよう取り組みを進めます。
 - ・昨今の防災に関する関心の高まりと必要性を受け、地域の他団体と連携し、防災セミナーを開催します。
- ② 他府県、他団体のおひさま発電所設置に関するサポートやアドバイス

広報活動

- ① ニュースレターの発行
年2回程度発行し、きょうとグリーンファンドの活動、温暖化やエネルギーなどに関する情報や会員相互の親睦を図る記事を会員、一般市民に提供します。
- ② 各種催しに参加
環境問題・エネルギーなどに関するイベントや地域の催しに参加して活動を紹介し、理解と協力を求めます。他団体との連携も広げます。
- ③ ホームページ、Facebook などを使った情報発信
きょうとグリーンファンドの活動状況をきめ細かく発信できるよう内容を更新します。

- ④ YouTube「きょうとグリーンファンド・ぐりふあんチャンネル」の内容の充実を図ります。

協力・連携

- ・認定NPO法人気候ネットワーク
- ・認定NPO法人環境市民
- ・京都府地球温暖化防止活動推進センター
- ・有限会社ひのでやエコライフ研究所
- ・一般社団法人市民エネルギー京都
- ・京エコロジーセンター
- ・京のアジェンダ21フォーラム
- ・京都市ごみ減量推進会議
- ・自然エネルギー学校・京都
- ・NPO法人KES環境機構
- ・国際ソロプチミスト京都ーわかば
- ・一般社団法人上鳥羽絆会
- ・京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センター
- ・公益財団法人パブリックリソース財団
- ・ネオス株式会社
- ・株式会社シェアリングマネジメントサービス
- ・太陽ガス株式会社（代理店：Happy Energy）
- ・パワーシフト・キャンペーン
- ・京都市市民活動総合センター
- ・Fridays for Future Kyoto
- ・SoftBankつながる募金

以上の団体と協力、連携します。